

## 平成24年第2回二次電池部会を開催

平成25年3月6日、和田部会長（古河電池株）を議長に、平成24年度第2回二次電池部会を開催した。冒頭に部会長および専務理事より挨拶があり、引き続き各委員会より活動報告が行われた。

### 1. 和田部会長挨拶

ここ2～3年と違って経済の様相にはようやく明るさが見えてきた。そういった中、二次電池部会の活動においては、まだまだ課題がある。①リサイクルについて、自動車用や産業用電池について課題が残っている。②また、法規制の問題や自動車関係でのEN化の動きがあり、我々が力を発揮しなければならない分野がある。③一方、鉛が高騰している中で安定的な購入・供給を受けることが焦眉の問題である。従って、各委員会においても業界発展のためにいろいろな課題を解決しながら活動していただいていると思うが、今後ともより一層の努力をお願いしたい。



### 2. 中谷専務理事挨拶

先日、「電気工業連盟」（業界16団体）で各業界の問題点を話す機会があり、電池業界の課題を話した。主な内容は2000年と2011年の比較を行なった際に電池業界全体の販売高が大きく下がった点について。1次電池はピークの2000年から7割ぐらいに減った。また、マンガン乾電池は生産が全部海外へシフトしてしまった。リチウムイオン電池は2000年比販売高が60%に下がった。これはリーマンショックの影響も

あるが、生産の海外シフトの影響が大きい。ニッケル水素電池は大きく伸びている。それに引き換え、鉛蓄電池の販売は2000年と2011年では途中に上下があったかもしれないが全く同じで安定している。

### 3. 委員会報告

#### (1) 広報総合委員会

高尾委員長

- ・電池PRキャンペーンで4万件を超える応募があり、多くの反響があった。
- ・手作り乾電池教室、イベント（でんちフェスタ・展示会）、小冊子更新などの報告がされた。
- ・H25年度は継続して「電池の正しい使い方や廃棄方法」を消費者に広く発信する。

**(2) 国際環境規制総合委員会** 福田副委員長

- ・5月に冊子を改訂した。欧州、北米、アジア、中南米の地域別状況、海外出張について報告された。
- ・来年度はアジア諸国のリサイクル現状調査を実施し関係強化する。

**(3) 産業用電池委員会** 谷口委員長

- ・SBA R0304の一般向けPRについては、各社より写真等を提出させ広報総合委員会に依頼した。

**(4) 産電リサイクル委員会** 福島委員長

- ・広域認定の共同申請書案を確認依頼のために環境省へ提出した。
- ・3R法の対象となる65Ah以下の小型制御弁式について各社分の集計をした。
- ・25年度上期は申請書の提出、リサイクルのガイドラインの策定、小型制御弁の回収集計・調査を行う。

**(5) 環境委員会** 鈴木委員長

- ・欧州REACH規制のSVHC拡大（54物質追加）、ナノマテリアルの情報交換を行った。
- ・H25年度は鉛電池・大型アルカリ電池の独自事項の情報交換を継続する。

**(6) 技術委員会** 大越委員長

- ・3つのテーマ（進捗～今後対応）とその他3件の報告事項について説明があった。
- ・S0101 ISS用電池と新規EN規格は、自技会との協議事項で進めていく。H25年度に完成目標。

**(7) PL委員会** 山口委員長

- ・始動用バッテリーの事故件数の調査集計、関係官庁・団体への活動、表示ガイドライン改訂作業などの説明があった。

**(8) 自動車用電池委員会** 藤嶋委員長

- ・業務・技術各分科会、委員会での活動報告があった。自技会からのISSとEN規格については営業関係の意見も反映するよう技術委員会との合同委員会を開催予定している。

**(9) 自動車鉛電池リサイクル委員会** 佐野委員長

- ・新自主スキームの運用状況、SBRA排出事業者登録状況、リサイクル実績等と下期活動計画が報告された。

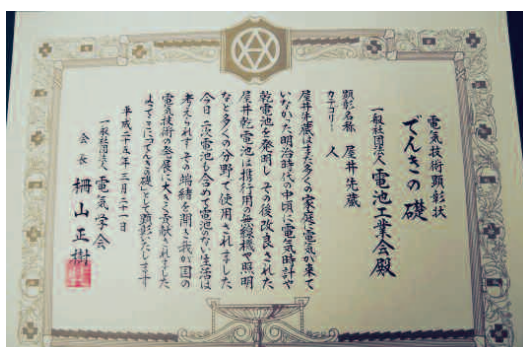
**(10) 資材委員会** 尾崎委員長

- ・下期活動状況、決定事項、今後の活動予定が報告された。

## 第6回でんきの礎

一般社団法人電気学会が平成20年から科学技術の未来の糧として、歴史的に記念される“モノ”、“場所”、“こと”、“人”を顕彰するという“でんきの礎”という顕彰制度にて、電池工業会が乾電池を世界で初めて開発したとされる屋井先蔵が関連した団体ということで、同じく屋井先蔵が理学一般を学んだ東京理科大学殿とともに表彰されました。

表彰式は3月21日、名古屋工業大学で行なわれ、表彰状と青銅のプレートが授与されました。



若宮公平氏は、1912年（大正元年）8月1日、広島県広島市に生まれました。出生当時、生家は海運業を営んでいましたが、のち朝鮮に渡りそこで同業を営んでおりました。

若宮氏は釜山中学を卒業すると、中国旅順の工科大学予科に入学し、その後、同大学を卒業しました。旅順工科大当時は、相撲部の主将であると共に、3段の高段者として柔道部にも重きをなしておりました。

同大学を卒業後は、三菱商事に入社し、同社の大連支店に勤務。大連支店では、当時岡田乾電池などの代理業務も行っていたので、入社早々乾電池に関係を持つことになりました。その後、奉天支店、天津支店と転勤し、更に大同の駐在員を経て北京支店に移りました。

昭和19年9月北京支店を最後に内地に帰り、三菱商事本社の機械部企業課に働くこととなりました。その頃三菱では、東洋乾電池の経営に参加するか否かの問題が起こっていました。帰還早々この問題と取り組む事となり、調査員として東洋乾電池に派遣されました。そして若宮氏の調査報告の結果、同年12月、東洋乾電池に関する三菱電機、三菱商事の協定が成立して、藤室益三、河合登の両氏が東洋乾電池の取締役に就任し、若宮氏は三菱商事企業課の担当員として、専ら東洋乾電池との連絡に当たることとなりました。ところが、20年7月に召集を受け、通信兵として久留米の部隊に入隊、まもなく終戦となり、栄養失調と皮膚病により憔悴した姿で9月に復員となりました。

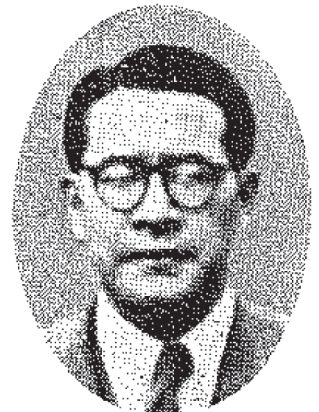
昭和21年2月に東洋乾電池社長の上田辰卯氏が退き、経営の実権が三菱に移り、荘清彦氏が社長に就任、若宮氏は清水淳一氏と共に三菱商事在籍のまま、再び東洋乾電池に派遣されることとなりました。そして、同年12月20

日には三菱商事を退社し、東洋乾電池の取締役に就任し、翌22年4月には常務取締役に栄進されました。戦災によって大打撃を受けた東洋乾電池再建のため、昭和21年から25年に至る間の苦闘は言語に絶するものがあったといわれています。三菱が東洋の経営に乗り出したのは、昭和19年に行った若宮氏の調査報告の結果に困ったものであったので、氏は自らの責任を深く感じて不惜身命の努力を払ったのでした。この間の過労が禍したのか、東洋乾電池の再建を終えた直後から腎臓性高血圧症という固疾に悩まされました。更に、昭和32年春頃からうつ病にかかり、その後1年間は病床に身を横たえることとなりました。

昭和34年を迎えて氏は関係方面にもやや健康を取り戻した顔を見せていましたが、1月29日11時15分、全く予想できなかった急性胃潰瘍によって急逝したのです。享年48歳でした。

氏は非常に酒を好み、学生時代および外地勤務の頃は、体力に物をいわせて、相当の酒豪ぶりを発揮していたようです。また、読書、吟詠のほかラジオ工作、花卉の観賞等その趣味は広がったようです。

また、昭和23年5月の日本乾電池工業会設立以来、前後9年間にわたり、理事職にあるとともに、病に倒れるまで連続10年間、同会の資材委員会委員長も務められました。氏が乾電池工業に関係をもった期間は10年と決して永いものではありませんが、乾電池業界に残した功績は、真に大きいものと思われま



若宮 公平氏



# 平成25年 3月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	8-9日	広報総合委員会	山川発電所見学、来年度の活動内容の審議。
	21日(木)	第115回理事会	H25年度事業計画・収支計画審議。
	27日(水)	広報ワーキンググループ	九州でんちフェスタの内容検討。
二次電池部会	1日(金)	技術委員会	H24年度活動報告・H25年度活動計画、他。
	1日(金)	自動車鉛分科会	EN規格関連審議。
	6日(水)	二次電池部会	H24年度活動報告・H25年度活動計画、他。
	13日(水)	PL委員会	表示ガイドライン改正審議。
	14日(木)	産業用電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	14日(木)	自動車技術サービス分科会	TS-004改正審議。
	15日(金)	充電器分科会	SBA G 0901、SBA G 0902改正審議。
	15日(金)	用語分科会	二次電池用語改正審議。
	21日(木)	自動車鉛分科会	JIS、IECの改正規格審議。
	21日(木)	資材委員会	廃バッテリー調査まとめ検討、他。
	22日(金)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討。
	22日(金)	電気車用電池リサイクル分科会	フォークリフト用電池リサイクルスキームの検討。
	22日(金)	EV鉛分科会	EV用電池の安全基準規格作成審議。
	27日(水)	自動車用電池リサイクル委員会	相場下落時のリサイクルシステム検討。
二次電池第2部会	7日(木)	次世代蓄電池委員会	産業用Li-Ionの普及検討。
	11日(月)	据置LIB分科会	IEC62619、IEC62620の検討。
	12日(火)	リチウム二次分科会	IEC改訂規格、ANSI改訂規格審議。
	13日(水)	LIB蓄電システムワーキンググループ	LIB蓄電池に関する審議。
	14日(木)	法規ワーキンググループ	電池規制内容検討。
	14日(木)	産業用電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	15日(金)	再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。
	15日(金)	充電器分科会	SBA G 0901、SBA G 0902改正審議。
	15日(金)	国際電池規格委員会	IEC、UL、ANSI、GBなど国際規格審議。
	19日(火)	ニカド・ニッケル水素分科会／ ニッケル水素輸送WG 合同会議	JIS、IECの改正規格審議／ ニッケル水素輸送に係わる状況確認。
	22日(金)	国際電池輸送委員会	リチウム電池輸送規制改定後の対応状況確認。
22日(金)	業務委員会	出荷投票実績確認。	
25日(月)	リチウム二次分科会	JIS C 8712改正規格審議(原案作成分科会)。	
一次電池部会	14日(木)	リチウム小委員会	平成25年度活動計画、コイン形リチウム二次電池の規格化、IEC審議。
	14日(木)	リチウム小委員会	平成25年度活動計画、コイン形リチウム二次電池の規格化、IEC審議。
	15日(金)	規格小委員会	平成25年度活動計画、JIS C 8514、IEC60086シリーズ改正審議、他。

# 1月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2013年1月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	284,291	54,601	91%	89%	284,291	54,601	91%	89%
一次電池計	178,412	5,582	88%	86%	178,412	5,582	88%	86%
酸化銀電池	65,072	1,070	86%	77%	65,072	1,070	86%	77%
アルカリ乾電池計	56,884	2,256	88%	87%	56,884	2,256	88%	87%
単 三	31,535	1,118	86%	89%	31,535	1,118	86%	89%
単 四	16,347	545	94%	85%	16,347	545	94%	85%
その他	9,002	593	83%	86%	9,002	593	83%	86%
リチウム電池	56,456	2,256	91%	91%	56,456	2,256	91%	91%
二次電池計	105,879	49,019	96%	90%	105,879	49,019	96%	90%
鉛電池計	2,744	13,359	97%	92%	2,744	13,359	97%	92%
自動車用	2,034	8,134	95%	91%	2,034	8,134	95%	91%
その他の鉛蓄電池	710	5,225	102%	93%	710	5,225	102%	93%
アルカリ蓄電池計	44,254	15,377	91%	85%	44,254	15,377	91%	85%
ニッケル水素	32,580	13,844	94%	85%	32,580	13,844	94%	85%
その他のアルカリ蓄電池	11,674	1,533	82%	83%	11,674	1,533	82%	83%
リチウムイオン蓄電池計	58,881	20,283	100%	92%	58,881	20,283	100%	92%
車載用	9,319	9,166	559%	104%	9,319	9,166	559%	104%
その他	49,562	11,117	87%	84%	49,562	11,117	87%	84%

# 1月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2013年1月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	139,798	24,668	96%	118%	139,798	24,668	96%	118%
一次電池計	65,198	1,616	96%	100%	65,198	1,616	96%	100%
マンガン	384	10	2071%	410%	384	10	2071%	410%
アルカリ	3,086	46	83%	64%	3,086	46	83%	64%
酸化銀	37,539	517	108%	106%	37,539	517	108%	106%
リチウム	24,067	950	82%	94%	24,067	950	82%	94%
空気亜鉛	11	0	—	—	11	0	—	—
その他の一次	111	92	258%	201%	111	92	258%	201%
二次電池計	74,600	23,053	97%	119%	74,600	23,053	97%	119%
鉛蓄電池	119	559	94%	90%	119	559	94%	90%
ニカド	8,592	772	78%	83%	8,592	772	78%	83%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	—	—
ニッケル水素	9,125	4,086	95%	120%	9,125	4,086	95%	120%
リチウムイオン	51,858	13,504	100%	117%	51,858	13,504	100%	117%
その他の二次	4,905	4,133	98%	148%	4,905	4,133	98%	148%
全電池合計（輸 入）	111,972	9,862	87%	123%	111,972	9,862	87%	123%
一次電池計	104,088	1,607	87%	130%	104,088	1,607	87%	130%
マンガン	14,648	148	55%	98%	14,648	148	55%	98%
アルカリ	71,641	816	89%	102%	71,641	816	89%	102%
酸化銀	417	9	138%	122%	417	9	138%	122%
リチウム	14,149	503	182%	236%	14,149	503	182%	236%
空気亜鉛	3,233	53	76%	93%	3,233	53	76%	93%
その他の一次	0	78	0%	1301%	0	78	0%	1301%
二次電池計	7,884	8,256	97%	121%	7,884	8,256	97%	121%
鉛蓄電池	763	2,640	111%	113%	763	2,640	111%	113%
ニカド	198	206	26%	135%	198	206	26%	135%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	—	—
ニッケル水素	2,296	528	132%	154%	2,296	528	132%	154%
リチウムイオン	4,206	4,060	122%	173%	4,206	4,060	122%	173%
その他の二次	422	821	28%	51%	422	821	28%	51%